

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 三気の家		公表日		令和 8 年 4 月 13 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1	2		適切な対応内容について、スタッフ間で情報共有を行い、統一した判断ができるよう努めている	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		一時的に人員配置の調整が難しく、活動内容を変更する場面があった。今後の利用増加に向けて配置体制の見直しが必要である。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		児発管と支援に関わる職員が会議の場で情報共有を行い、こどもの最善の利益を踏まえて支援計画を協議している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		当日の対応内容を同日中に保護者へ共有し、情報提供の迅速化に努めている。さらに、今回からアンケートを実施し、保護者の意向を把握する仕組みを整えている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		スタッフから療育に関する意見を随時収集しており、得られた意見は業務改善に反映するよう努めている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		4月にスタッフ間で研修を実施し、その他の外部研修にも積極的に参加している。また、年2回のケース検討研修を行い、事業所内での報告や意見交換を通して学びを共有している。		
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		月1回の面談や事前の聞き取りを通して現状を把握し、保護者の要望も踏まえてニーズを整理したうえで、訪問支援計画に反映している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児発管と関係スタッフが会議の場で情報共有を行い、こどもの最善の利益を踏まえて支援計画を共同で検討している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	1	訪問先施設の担当者と話し合いの時間を確保し、意見交換を行っている。担当者会議にも出席し、訪問後の情報や状況を共有しながら、施設側の意向を計画に反映している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		毎日、支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容と役割分担を確認している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		毎日反省会を行い、業務内容の振り返りと改善に取り組んでいる。また、保護者への報告を適宜行い、スタッフ間での情報共有を徹底している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先の理念や支援手法を尊重し、活動の様子に関する見守り発信は控えるなど、訪問先の方針に沿った支援を行っている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・面談や事前の話し合いを通して、内容の見直しを行っている			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・児発管が同席して対応している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・該当する場合には、関係機関と連携して対応している	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		就学先の先生に療育場面を見学していただき、実際の子ども様子を把握してもらっている。そのうえで、書面を用いた情報共有の機会を設け、連携を図っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		毎月実施している個別面談の場で、保護者の皆様と継続的な情報共有および意見交換を行っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		保護者支援の充実を図るため、ペアレントトレーニング研修に参加している	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・保護者の方と話し合いの機会を設け、必要な情報共有を行っている	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		送迎時や定期的な個別面談を通じて保護者と情報共有や相談支援を行い、加えて連絡帳を活用することで、訪問先での様子や支援内容を日常的に共有し、保護者との連携を継続的に図っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	親子通園終了後に保護者と話す時間を確保し、保育内容や課題の共有を行っている。また、ダイナミックリズムのような家族参加のプログラムにはきょうだい児も参加できるようにし、家族で体を動かす機会を提供している。一方で、きょうだい児同士の交流機会は現在は設け	現状は対応できているが、今後利用者が増えた際に、保護者支援やきょうだい支援の機会をどう確保するかが課題。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		・機関紙やLINEなどの媒体を通じて活動報告を行い、保護者や関係者への情報提供に努めている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・個人情報保護の観点から、PCおよびUSB等の外部記録媒体の持ち出しを禁止し、適切な情報管理を徹底している ・個人ケースを保管する棚は施錠可能な設備とし、安全	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・伝え方・言葉遣い・視覚的な配慮・動作などに注意し、分かりやすい関わりを心がけている	他施設の取り組みについても学び、自施設の支援に取り入れることを検討している
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		相談・質問を受け付け、必要な助言を行える体制が確保されている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		スタッフ間で継続的にヒヤリハットを共有し、共通理解のもとで支援の質向上に取り組んでいる。共有内容を踏まえ、業務改善や支援方法の見直しにつなげている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			